



## 2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東  
コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 畑中 格 TEL 03-6380-7490  
定時株主総会開催予定日 2025年3月25日 配当支払開始予定日 -  
有価証券報告書提出予定日 2025年3月26日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期の業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	193	1.7	△846	—	△847	—	△859	—
2023年12月期	190	50.4	△697	—	△710	—	△846	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△25.72	—	△40.0	△34.6	△437.9
2023年12月期	△29.43	—	△51.4	△35.4	△367.0

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 -百万円 2023年12月期 -百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	2,433	2,163	88.5	62.10
2023年12月期	2,465	2,164	86.9	68.08

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,152百万円 2023年12月期 2,141百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	△866	△18	855	2,134
2023年12月期	△779	56	1,814	2,163

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	60	△21.1	△460	—	△460	—	△510	—	△14.71
通期	195	1.0	△1,010	—	△1,010	—	△1,060	—	△30.58

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	34,666,419株	2023年12月期	31,459,019株
2024年12月期	156株	2023年12月期	156株
2024年12月期	33,430,608株	2023年12月期	28,760,474株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 次期の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態、キャッシュ・フローの概況 .....	3
(3) 次期の見通し .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### （1）経営成績に関する分析

当事業年度におけるわが国経済は、内需及びインバウンド需要の回復など、社会活動の正常化の動きがみられ、また、賃金上昇を中心とした雇用環境の改善による個人消費の回復などの要因から、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国際情勢不安、円安の進行、物価上昇など、景気動向についてはいまだ予断を許さない状況が続いております。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当事業年度における売上高は193,277千円（前事業年度比1.7%の増加）、営業損失は846,378千円（前事業年度比148,601千円の増加）、経常損失は847,675千円（前事業年度比137,398千円の増加）、当期純損失は859,840千円（前事業年度比13,306千円の増加）となりました。

#### ①再生医療支援事業（細胞培養器材、製造受託など）

細胞培養器材事業では、器材製品の拡販に向けた既存代理店との協業強化及び日本再生医療学会、日本免疫学会、日本生化学会、日本分子生物学会年会など複数の学会において研究開発の成果をポスター発表するとともに、器材製品を展示した企業ブースを出展するなど、積極的な販売促進活動を継続しました。また、海外市場においては売上が前年比大幅に増加し、器材事業としては昨年度を更新し、過去最高の売上を達成することができました。直近8年間で器材事業の売上は3.5倍に増加しており、今後も更なる売上拡大を目指し、主要販売代理店からの売上情報等の収集分析などにより、より慎重かつ積極的な判断のもとで既存製品の販売拡大を目指すとともに、顧客ニーズ、市場動向に合致した新製品開発のための研究開発にも注力し、新規の顧客を獲得できるよう努めてまいります。

再生医療受託事業では、再生医療等安全性確保法に基づく特定細胞加工物製造許可及び薬機法に基づく再生医療等製品製造業許可を取得した細胞培養センター(CPC)において、主に細胞シートの製造を受託しております。当事業年度においても、先進医療の治療が行われている東海大学より2症例の自己軟骨細胞シートの製造、成育医療研究センターより1症例の小児食道シートの製造を受託しました。加えて、引き続き他の医療機関や企業からの受託案件の獲得にも注力しております。

以上のような結果、当事業年度における売上高は192,059千円（前事業年度比9,725千円の増加）、営業損失は20,535千円（前事業年度比11,903千円の減少）となりました。

#### ②細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートの再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を継続して推進しております。

同種軟骨細胞シートは、2023年9月20日に、同種軟骨細胞シート(CLS2901C)の第3相試験の治験届を独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に提出し、治験審査委員会(IRB)を経て、各治験実施施設との契約を締結し、各治験実施施設において手術を行える体制を整えてきました。

一方で、2024年9月25日開示「同種軟骨細胞シートの治験開始時期に関するお知らせ」のとおり、東海大学とは治験の進展に応じたマイルストンの支払金額について交渉を行っております。2025年1月末現在、2024年9月25日時点よりも双方が想定している支払金額の乖離幅は縮小しております。治験の開始には東海大学医学部医学科整形外科の佐藤正人教授のご協力が必要であるため、1日でも早い合意に向けた交渉を継続し、治験開始に至るよう努めてまいります。

事業提携活動につきましては、事業化の加速、また将来の同種軟骨細胞シートの販売に向けて、引き続き複数の会社との事業提携及び共同研究契約の締結に向けた活動を積極的に行っております。

以上のような活動の結果、売上高は1,217千円（前事業年度比6,582千円の減少）、営業損失は595,521千円（前事業年度比126,830千円の増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する分析

## (資産)

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末に比べて39,592千円減少し、2,312,219千円となりました。これは、現金及び預金が28,992千円、売掛金が14,745千円減少したことなどによります。

当事業年度末の固定資産は、前事業年度末に比べて6,907千円増加し、120,865千円となりました。これは、長期前払費用が6,159千円増加したことなどによります。

この結果、当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて32,684千円減少し、2,433,084千円となりました。

## (負債)

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末に比べて20,424千円減少し、103,144千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3,334千円増加した一方で、未払金が29,823千円減少したことなどによります。

当事業年度末の固定負債は、前事業年度末に比べて10,742千円減少し、166,735千円となりました。これは、長期借入金10,834千円減少したことなどによります。

この結果、当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べて31,167千円減少し、269,880千円となりました。

## (純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べて1,517千円減少し、2,163,204千円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ435,075千円増加した一方で、当期純損失を859,840千円計上したことなどによります。

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べて28,992千円減少し、2,134,299千円となりました。当事業年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動に使用した資金は866,104千円（前事業年度比86,668千円の支出増）となりました。これは、税引前当期純損失を857,550千円計上したことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動に使用した資金は18,367千円（前事業年度は56,315千円の獲得）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出18,367千円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果獲得した資金は855,479千円（前事業年度比958,721千円の収入減）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入862,979千円などによるものです。

## (3) 次期の見通し

再生医療支援事業では、引き続き器材製品を中心に特に海外の販売の拡大を図って参ります。また、再生医療に関わる総合的なサポートを通じて、再生医療の研究開発・事業化を支援する再生医療受託製造等を推進いたします。これらを通してセグメント売上高195百万円を見込んでおります。

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートなどの開発を推進して参ります。当該開発には引き続き研究開発費を要する見込となっております。また当社パイプラインの技術導出に向け新規事業先候補とも積極的に交渉を重ねてまいります。

これらの施策の結果として次期は、売上高は195百万円、営業利益は△1,010百万円、経常利益は△1,010百万円、当期純利益は△1,060百万円を見込んでおります。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等

当社の当事業年度末の手元資金（現金及び預金）の残高は2,134,299千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておらず、当社は当事業年度末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、以下の施策に取り組んで参ります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、同種軟骨細胞シートなどの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針です。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,163,292	2,134,299
売掛金	51,871	37,126
商品及び製品	15,398	12,476
仕掛品	4,289	9,448
原材料及び貯蔵品	26,504	24,065
前渡金	7,612	5,483
前払費用	20,540	22,735
未収消費税等	62,302	64,776
その他	—	1,806
流動資産合計	2,351,811	2,312,219
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,964	25,964
機械及び装置	2,286	2,286
工具、器具及び備品	41,706	41,706
減価償却累計額	△69,957	△69,957
有形固定資産合計	—	—
投資その他の資産		
投資有価証券	19,788	20,536
長期前払費用	—	6,159
その他	94,169	94,169
投資その他の資産合計	113,957	120,865
固定資産合計	113,957	120,865
資産合計	2,465,768	2,433,084
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,778	6,183
未払金	73,510	43,687
1年内返済予定の長期借入金	7,500	10,834
未払費用	9,759	10,184
未払法人税等	15,600	16,661
賞与引当金	4,064	4,228
前受金	—	33
預り金	9,354	11,333
流動負債合計	123,569	103,144
固定負債		
長期借入金	143,750	132,916
資産除去債務	33,728	33,819
固定負債合計	177,478	166,735
負債合計	301,047	269,880

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,384,311	2,819,386
資本剰余金		
資本準備金	1,363,892	1,798,967
資本剰余金合計	1,363,892	1,798,967
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,606,214	△2,466,054
利益剰余金合計	△1,606,214	△2,466,054
自己株式	△227	△227
株主資本合計	2,141,761	2,152,071
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	747
評価・換算差額等合計	—	747
新株予約権	22,959	10,384
純資産合計	2,164,721	2,163,204
負債純資産合計	2,465,768	2,433,084



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	190,134	193,277
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	19,757	15,398
当期商品仕入高	7,670	7,686
当期製品製造原価	76,952	76,441
合計	104,379	99,527
他勘定振替高	6,001	3,881
商品及び製品期末棚卸高	15,398	12,476
売上原価合計	82,979	83,169
売上総利益	107,154	110,107
販売費及び一般管理費		
研究開発費	456,414	573,317
その他	348,516	383,169
販売費及び一般管理費合計	804,931	956,486
営業損失(△)	△697,776	△846,378
営業外収益		
受取利息	13	232
為替差益	—	2,602
受取手数料	109	18
還付加算金	59	—
受取支援金収入	400	970
その他	11	27
営業外収益合計	593	3,849
営業外費用		
支払利息	1,128	2,057
為替差損	46	—
新株発行費	11,918	3,088
営業外費用合計	13,093	5,146
経常損失(△)	△710,276	△847,675
特別利益		
新株予約権戻入益	912	8,492
関係会社株式売却益	15,759	—
特別利益合計	16,671	8,492
特別損失		
減損損失	112,028	18,367
投資有価証券評価損	39,950	—
特別損失合計	151,979	18,367
税引前当期純損失(△)	△845,584	△857,550
法人税、住民税及び事業税	950	2,290
法人税等合計	950	2,290
当期純損失(△)	△846,534	△859,840

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)		当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	56,513	70.3	65,549	80.3
II 労務費		6,155	7.7	2,914	3.6
III 経費		17,735	22.0	13,136	16.1
当期総製造費用		80,404	100.0	81,600	100.0
期首仕掛品棚卸高		836		4,289	
合計		81,241		85,890	
期末仕掛品棚卸高		4,289		9,448	
当期製品製造原価		76,952		76,441	

(注) ※主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
業務委託費	7,510	8,427
消耗品費	3,914	1,586
水道光熱費	3,012	1,363

(原価計算の方法)

原価計算の方法は、個別原価計算によっております。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,467,377	446,957	446,957	△759,680	△759,680	△227	1,154,427
当期変動額							
新株の発行 (新株 予約権の行使)	916,934	916,934	916,934				1,833,868
当期純損失 (△)				△846,534	△846,534		△846,534
自己株式の取得						△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	916,934	916,934	916,934	△846,534	△846,534	△0	987,334
当期末残高	2,384,311	1,363,892	1,363,892	△1,606,214	△1,606,214	△227	2,141,761

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	△321	△321	24,232	1,178,338
当期変動額				
新株の発行 (新株 予約権の行使)				1,833,868
当期純損失 (△)				△846,534
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	321	321	△1,272	△950
当期変動額合計	321	321	△1,272	986,383
当期末残高	-	-	22,959	2,164,721

当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	2,384,311	1,363,892	1,363,892	△1,606,214	△1,606,214	△227	2,141,761
当期変動額							
新株の発行 (新株 予約権の行使)	435,075	435,075	435,075				870,150
当期純損失 (△)				△859,840	△859,840		△859,840
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	435,075	435,075	435,075	△859,840	△859,840	—	10,309
当期末残高	2,819,386	1,798,967	1,798,967	△2,466,054	△2,466,054	△227	2,152,071

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	-	-	22,959	2,164,721
当期変動額				
新株の発行 (新株 予約権の行使)				870,150
当期純損失 (△)				△859,840
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	747	747	△12,575	△11,827
当期変動額合計	747	747	△12,575	△1,517
当期末残高	747	747	10,384	2,163,204

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失 (△)	△845,584	△857,550
減価償却費	7,939	—
減損損失	112,028	18,367
受取利息	△13	△232
支払利息	1,128	2,057
新株発行費	11,918	3,088
新株予約権戻入益	△912	△8,492
関係会社株式売却損益 (△は益)	△15,759	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	39,950	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,095	14,745
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,974	201
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△20,387	△10,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,384	2,404
未払金の増減額 (△は減少)	43,904	△29,823
前受金の増減額 (△は減少)	△121,648	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	680	163
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	22,026	2,267
小計	△777,465	△863,276
利息の受取額	11	196
利息の支払額	△1,032	△2,076
法人税等の支払額	△948	△947
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△779,435</b>	<b>△866,104</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,632	△18,367
関係会社の整理による収入	2,127	—
関係会社株式の売却による収入	75,820	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>56,315</b>	<b>△18,367</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,819,700	862,979
新株予約権の発行による収入	2,001	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,814,201</b>	<b>855,479</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,091,081	△28,992
現金及び現金同等物の期首残高	1,072,210	2,163,292
現金及び現金同等物の期末残高	2,163,292	2,134,299

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当事業年度において資本金及び資本剰余金がそれぞれ435,075千円増加しており、当事業年度末において資本金が2,819,386千円、資本剰余金が1,798,967千円となっております。

（持分法損益等）

前事業年度（2023年12月31日）

当社が有しているすべての関連会社は、利益基準等からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。なお、当社は当該関連会社株式の一部を譲渡したことにより、当事業年度末時点において当社が保有する関連会社株式はありません。

当事業年度（2024年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業領域の核を「再生医療」として、国内・海外で再生医療支援事業、細胞シート再生医療事業の活動を展開していることから、「再生医療支援事業」及び「細胞シート再生医療事業」の2つを報告セグメントとしております。

「再生医療支援事業」では、温度応答性細胞培養器材等の研究開発・製造・販売を中心に行っており、「細胞シート再生医療事業」では、現在、細胞シート再生医療等製品の研究開発を中心に行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの損失は、営業損失ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額（注） 1, 2, 3, 4	財務諸表計上 額（注）5
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	182,334	7,799	190,134	—	190,134
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	182,334	7,799	190,134	—	190,134
セグメント損失（△）	△32,438	△468,691	△501,129	△196,647	△697,776
セグメント資産	132,875	65,349	198,225	2,267,543	2,465,768
セグメント負債	41,391	58,935	100,327	200,720	301,047
その他の項目					
減価償却費	7,939	—	7,939	—	7,939
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	770	—	770	20,862	21,632

(注) 1 セグメント損失（△）の調整額△196,647千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に本社の経営企画部門などに係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額2,267,543千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金及び経営企画部門などに係る資産であります。

3 セグメント負債の調整額200,720千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に未払金、未払法人税、長期借入金などであります。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額20,862千円は、報告セグメントに帰属しない本社などの設備投資額であります。

5 セグメント損失（△）は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当事業年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注） 1, 2, 3, 4	財務諸表計上 額（注）5
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	192,059	1,217	193,277	—	193,277
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	192,059	1,217	193,277	—	193,277
セグメント損失（△）	△20,535	△595,521	△616,057	△230,320	△846,378
セグメント資産	120,594	69,945	190,540	2,242,544	2,433,084
セグメント負債	44,025	32,193	76,219	193,660	269,880
その他の項目					
減価償却費	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	2,320	—	2,320	16,046	18,367

（注）1 セグメント損失（△）の調整額△230,320千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に本社の経営企画部門などに係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額2,242,544千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金及び経営企画部門などに係る資産であります。

3 セグメント負債の調整額193,660千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に未払金、未払法人税、長期借入金などであります。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,046千円は、報告セグメントに帰属しない本社などの設備投資額であります。

5 セグメント損失（△）は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。



## 【関連情報】

前事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
70,900	112,350	6,882	—	190,134

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・・・・デンマーク

アジア・・・・・・台湾

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Thermo Fisher Scientific Inc.	112,350	再生医療支援事業
フナコシ（株）	37,618	再生医療支援事業
学校法人東海大学	25,777	再生医療支援事業

当事業年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
46,153	146,736	387	—	193,277

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・・・・デンマーク

アジア・・・・・・台湾

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Thermo Fisher Scientific Inc.	146,736	再生医療支援事業
フナコシ（株）	30,127	再生医療支援事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	全社・消去	合計
減損損失	91,165	—	20,862	112,028

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当事業年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	全社・消去	合計
減損損失	2,320	—	16,046	18,367

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

前事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）		当事業年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）	
1株当たり純資産額	68円08銭	1株当たり純資産額	62円10銭
1株当たり当期純損失（△）	△29円43銭	1株当たり当期純損失（△）	△25円72銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

（注） 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

	前事業年度 （2023年12月31日）	当事業年度 （2024年12月31日）
純資産の部の合計額（千円）	2,164,721	2,163,204
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	22,959	10,384
（うち新株予約権）（千円）	(22,959)	(10,384)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	2,141,761	2,152,819
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	31,459	34,666

## 2 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）	当事業年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）
1株当たり当期純損失		
当期純損失（△）（千円）	△846,534	△859,840
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純損失（△）（千円）	△846,534	△859,840
普通株式の期中平均株式数（千株）	28,760	33,430
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第14回 650個 第15回 80個 第17回 340個 第21回 687個	第15回 80個 第17回 290個

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。